

E A 2 1



※2023年3月:岩手事業所
太陽光発電システム設置

2025
環境経営レポート

2025年4月～2026年3月

発行日：2026年5月26日【第5版】



エコアクション21
認証番号 0013196

目次

	ページ
1. 会社概要	2
2. 対象範囲	2
3. 許可	3
4. 環境経営方針	4
5. 環境活動方針	5
6. 体制・役割・権限	6
7. 環境データ	7
8. 環境経営目標及び結果・評価	8
9. 環境経営計画への取組み	9
10. 各地区環境負荷低減への取組み	10
11. コンプライアンス	11
12. コンプライアンス活動	12～13
13. 社内コミュニケーション	14～15
14. 教育・訓練	16
15. 活動事例	17～18
16. 社会貢献活動	19～20
17. 代表者による全体評価と見直し・指示	21

1. 会社概要

会社名	株式会社EJサービス
資本金	92百万円
本店所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山4番地18
設立	2015年(平成27年)7月1日
代表者名	取締役社長(代表取締役) 菅野 告
環境統括者	取締役 牧元 浩一郎
環境管理責任者	安全・環境室長 中村 悦郎
URL	http://www.ej-service.co.jp/
従業員数	432名(2026年4月現在)
売上高	9,070百万円(2025年度)

2. 対象範囲

対象範囲	岩手地区・宮城地区・東富士地区(横須賀営業所・相模原出張所) ※山梨事業所(山梨県南アルプス市徳永1500番地)については ISO14001で活動中の為対象外
本店所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山4番地18 Tel: 0197-44-5005 Fax: 0197-44-5006
設立	2015年(平成27年)7月1日
代表者名	取締役 牧元 浩一郎
主な事業	トヨタ自動車東日本の建築・土木・設備・電気工事の施工管理 ビル清掃、厚生施設管理、警備、産業廃棄物収集運搬 トヨタ自動車東日本従業員向けの各種保険窓口、旅行代理店業務 売店・自販機および物品販売、住宅メーカーの施工管理

3. 許可

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業許可証（岩手県）

許可番号：00300000627号
許可年月日：令和4年12月15日
有効年月日：令和9年12月14日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
運搬車両の種類・台数：アームロール車1台

産業廃棄物収集運搬業許可証（神奈川県）

許可番号：01401000627号
許可年月日：令和4年7月1日
有効年月日：令和9年3月31日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
運搬車両の種類・台数：トラック1台

産業廃棄物収集運搬業許可証（静岡県）

許可番号：02201000627号
許可年月日：令和8年3月1日
有効年月日：令和13年2月28日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
運搬車両の種類・台数：アームロール車1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証（岩手県）

許可番号：00350000627号
許可年月日：令和5年7月12日
有効年月日：令和10年7月11日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：廃油、廃アルカリ、汚泥
運搬車両の種類・台数：トラック1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証（静岡県）

許可番号：02251000627号
許可年月日：令和6年11月2日
有効年月日：令和11年11月1日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：引火性廃油、腐食性廃酸
運搬車両の種類・台数：トラック1台

一般廃棄物処理業許可証（金ケ崎町）

許可番号：第6-11号
許可年月日：令和7年3月1日
有効年月日：令和9年2月28日
事業の範囲：収集・運搬（積替え・保管除く）
廃棄物の種類：一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥除く）
運搬車両の種類・台数：ダンプ1台、2トン車1台

一般廃棄物収集運搬業許可証（横須賀市）

許可番号：第34号
許可年月日：令和6年10月1日
有効年月日：令和8年9月30日
事業の範囲：一般廃棄物収集運搬（積替え・保管除く）
廃棄物の種類：一般廃棄物（ごみ）
運搬車両の種類・台数：キャブオーバー1台

建設業

建設業許可（一般）

許可番号：国土交通大臣 許可（般-6）第16672号
許可の有効期限：令和7年3月20日から令和12年3月19日
建設業の種類：消防施設工事業

建設業許可（特定）

許可番号：国土交通大臣 許可（特-6）第16672号
許可の有効期限：令和7年3月20日から令和12年3月19日
建設業の種類：土木工事業、大工工事業、屋根工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業、解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工工事業、電気工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、しゅんせつ工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、水道施設工事業、とび、土工事業

4. 環境経営方針

【企業理念】 トヨタ基本理念を踏襲

トヨタ基本理念

1. 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす
2. 各国、各地域の文化・慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
3. クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
4. 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する
5. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
6. グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす
7. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

<1992年1月制定・1997年4月改定>

【環境経営方針】

1. 国や地方自治体などの環境法規制及び当社が同意した、その他の要求事項を遵守します。
2. 提供する製品やサービス、工事施工を通じ、環境負荷低減に貢献します。
3. 温室効果ガスの排出削減に努めます。
4. 水・化学物質使用及び廃棄物排出低減を推進します。
5. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境保護活動に貢献します。
6. この環境方針達成のため、環境目的・目標を設定し、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

この環境経営方針は、従業員へ周知するとともに利害関係者へ開示します。

制定日：2019年10月 1日

改訂日：2021年10月 1日

改訂日：2025年 1月 1日

改訂日：2025年10月20日

環境統括者：牧元 浩一郎

5. 環境活動方針

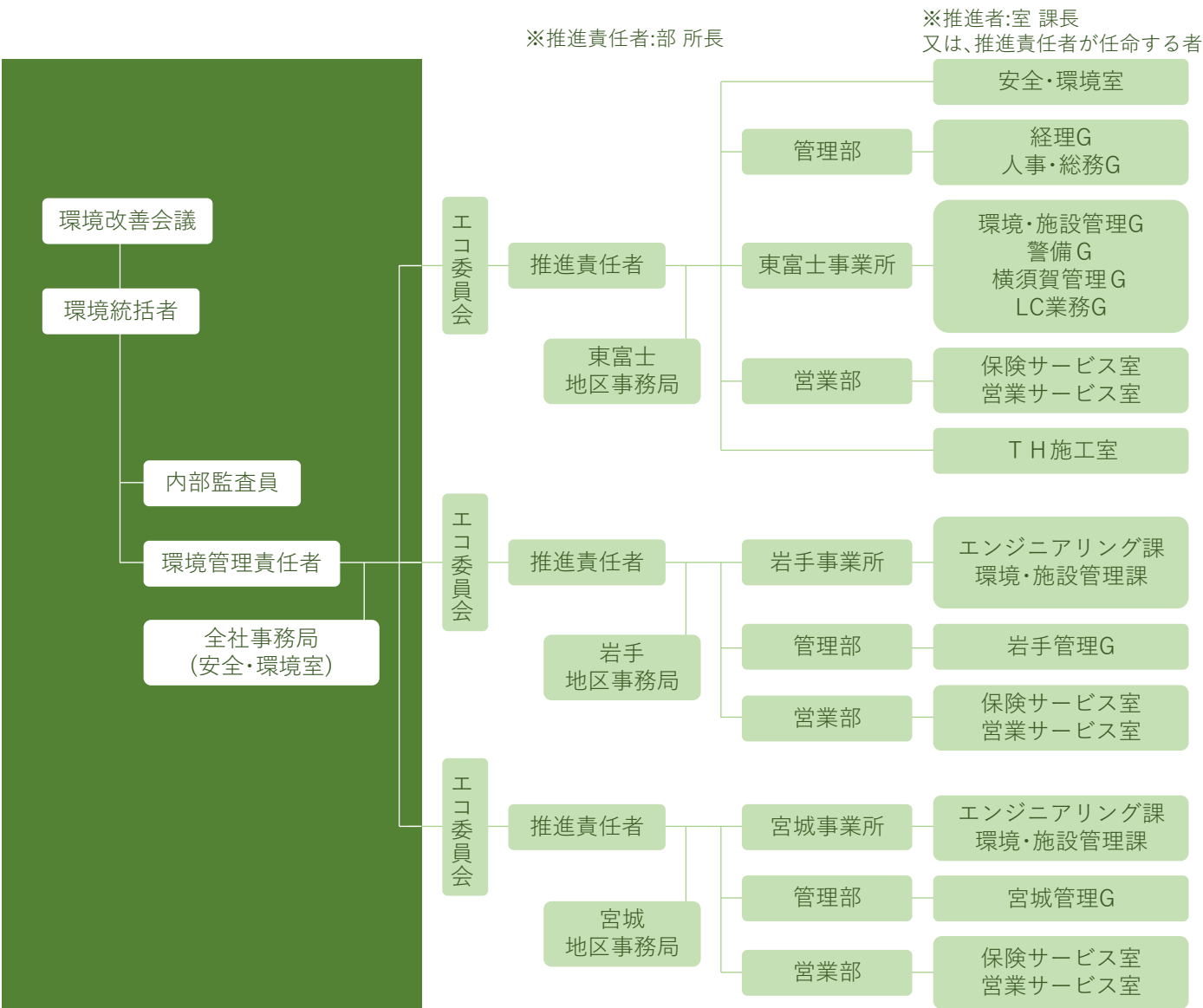


2025年度 環境活動方針



考え方	重点推進事項
コンプライアンス コンプライアンスの積上げ     	1) TMEJと連携した法令遵守の強化と環境情報共有 2) EA21認証取得(中間審査)に向けた新たな視点での取組み推進 3) 社内環境帳票の見直し・整備 4) 環境パトロールによる、異常・苦情 未然防止活動の強化
環境負荷低減 CN対応・CO2削減への取組み    	1) 国際認証制度推進を受け2019年比で2035年迄にCO2排出68%低減を推進 【2025年エネルギーCO2排出低減目標】 24年実績:144,414kg-CO2から 19,553kg-CO2低減 2) 本来業務での環境負荷低減活動
人材育成 全従業員の環境意識向上活動 	1) 地区間で・他社情報等を共有しオールEJサービスで社会貢献活動を含む環境活動活性化を推進 2) 環境資格取得や外部講習活用の教育で知識・意識向上を推進

6. 体制・役割・権限



役割および責任権限	統括者	管理責任者	全社事務局	推進責任者	推進者	地区事務局	内部監査員
適用範囲・活動の明確化	◎						
代表者による経営課題とチャンスの明確化	◎	○	○	○			
環境経営方針の策定	◎						
環境負荷と環境への取組状況の把握および評価				◎	○	○	
環境関連法規などの取りまとめ			◎			○	
環境経営目標及び環境経営計画の策定				○	◎	○	
実施体制の構築	◎			◎			
経営資源の用意	◎						
教育・訓練の実施					◎	◎	
環境コミュニケーションの実施【環境改善会議】		◎	○			○	
環境コミュニケーションの実施【エコ委員会】				◎	○	○	
実施および運用				◎	◎	○	
環境上の緊急事態への準備および対応				○	◎	○	
文書類の作成・管理	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
当事業所状況の確認・評価、ならびに問題の是正および予防		○	◎	○	○	◎	◎
代表者による全体の評価と見直し・指示	◎	○	○	○	○	○	
環境経営レポートの作成および公表と活用	◎	◎	◎			○	

凡例：◎主管・○関連者

7. 環境データ

2025年度実績 (2025年4月～2026年3月)

※宮城・東富士地区は賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	再エネ電力 (CO ₂ 排出ゼロ)	kwh	— ※	— ※	52,472 ★	52,472
	灯油	L	—	—	707	707
	LPG	kg	—	—	29 ★	29
	ガソリン	L	16,284	4,400	12,869	33,553
	軽油	L	1,314	2,921	11,478	15,713
エネルギーCO ₂ 排出量合計		kg-CO ₂	40,507	17,811	61,807	120,125
可燃ごみ排出量		kg	37	275	19	331
水使用量		m ³	— ※	— ※	246	246
産業廃棄物排出量		kg	83,014	1,400	154,342	238,756
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	234	234
収集運搬量		t	75	0	223	298
化学物質使用量		kg	0	0	381	381

★岩手地区:2025年2月から再生エネ電力購入・10月からLPGをやめ、エコキュート導入

2024年度実績 (2024年4月～2025年3月)

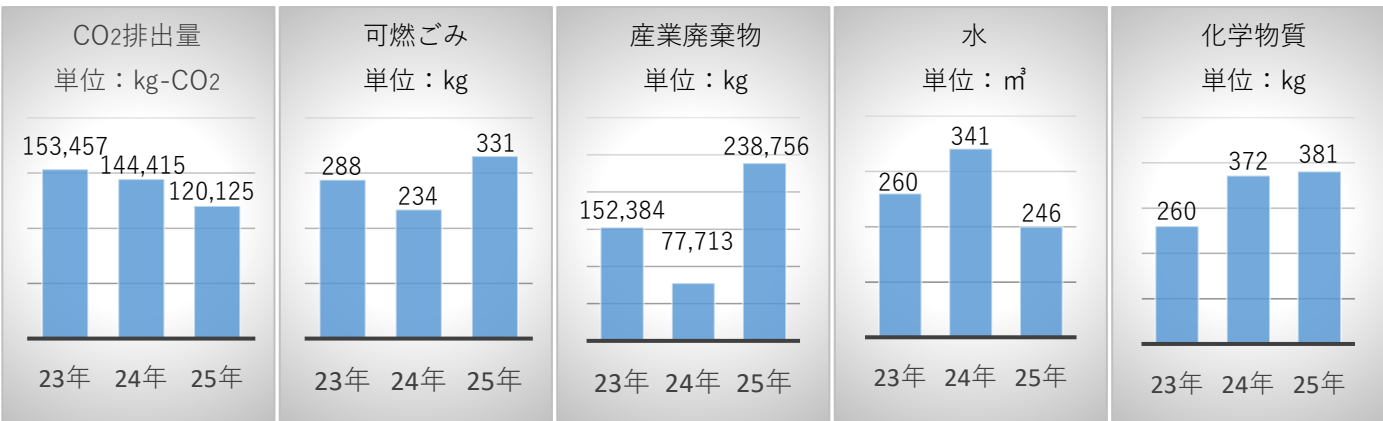
※宮城・東富士地区は賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	再エネ電力 (CO ₂ 排出ゼロ)	kwh	—	—	14,398	14,398
	電力 (CO ₂ 排出係数:0.460)	kwh	— ※	— ※	34,524	34,524
	灯油	L	—	—	896	896
	LPG	kg	—	—	73	73
	ガソリン	L	17,383	5,760	13,070	36,214
	軽油	L	941	4,317	11,114	16,370
エネルギーCO ₂ 排出量合計		kg-CO ₂	42,009	24,635	77,771	144,415
可燃ごみ排出量		kg	35	180	19	234
水使用量		m ³	— ※	— ※	341	341
産業廃棄物排出量		kg	1,300	11,060	65,353	77,713
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	342	342
収集運搬量		t	68	0	173	241
化学物質使用量		kg	0	0	372	372

2023年度実績 (2023年4月～2024年3月)

※宮城・東富士地区は賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 (CO ₂ 排出係数:0.483)	kwh	— ※	— ※	43,947	43,947
	灯油	L	—	—	1,084	1,084
	LPG	kg	—	—	82	82
	ガソリン	L	20,679	5,309	9,648	35,636
	軽油	L	786	3,461	13,813	18,060
エネルギーCO ₂ 排出量合計		kg-CO ₂	49,082	21,319	83,056	153,457
可燃ごみ排出量		kg	42	229	17	288
水使用量		m ³	— ※	— ※	260	260
産業廃棄物排出量		kg	1,280	5,659	145,445	152,384
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	263	263
収集運搬量		t	67	0	188	255
化学物質使用量		kg	0	0	260	260



8. 環境経営目標及び結果・評価

項目(単位)	年度 目標・実績・評価	2019年度	2025年度				2026年度		2027年度	
		【基準年度】 実績	目標	実績	評価	基準年比	目標	基準年比	目標	基準年比
電力使用によるCO ₂ 削減 (kg-CO ₂)		75,329	0	0	○	-100%	0	-100%	0	-100%
LPG使用によるCO ₂ 削減 (kg-CO ₂)		2,227	172	82	○	-96%	0	-100%	0	-100%
灯油使用によるCO ₂ 削減 (kg-CO ₂)		8,345	1,880	1,780	○	-79%	1,424	-83%	1,068	-87%
車両使用によるCO ₂ 削減 (kg-CO ₂)		190,924	122,809	118,263	○	-38%	115,473	-40%	112,683	-41%
CO ₂ 排出量 合計 (kg-CO ₂)		276,825	124,861	120,125	○	-57%	116,897	-58%	113,751	-59%
可燃ごみの削減 (kg)		373	234	331	×	-11%	331	-11%	331	-11%
可燃ごみのリサイクル率		95.1%	95.5%	95.4%	×	+0.3%	95.9%	+0.8%	96.4%	+1.3%
水使用量の削減 (m ³)		440	341	246	○	-44%	246	-44%	246	-44%
産業廃棄物の削減 (kg)		268,724	76,936	238,756	×	-11%	236,069	-12%	233,382	-13%
特別産業廃棄物の削減 (kg)		901	339	342	×	-62%	333	-63%	324	-64%
化学物質使用量の削減 (kg)		44,441	368	381	×	-99%	381	-99%	381	-99%
環境に配慮した収集運搬業務		点検シートによる日常管理								
地域社会とのコミュニケーション 地域環境保護活動		親会社の活動に積極的に協力。地区独自の活動も社内で横展開 オールEJサービスで地域社会に貢献し続ける。								

※水使用量と可燃ごみと化学物質量の目標値は、前年実績以下

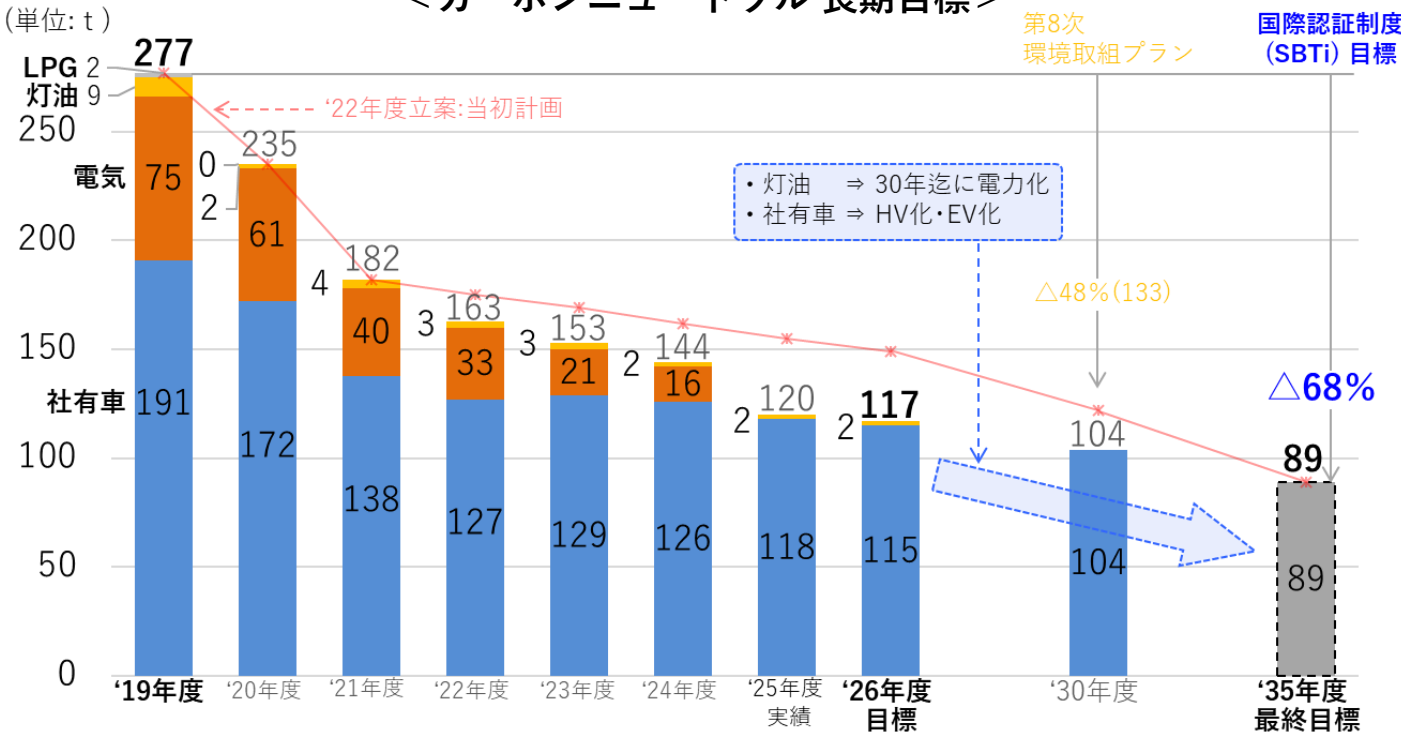
※特・産業廃棄物は前年比約1%ずつ低減

※リサイクル率は前年比 約0.5%向上を目指す

国際認証制度推進に向けた取組み（親会社に同調）

2019年CO₂排出量実績から2035年までに68%の削減を目指す

<カーボンニュートラル 長期目標>



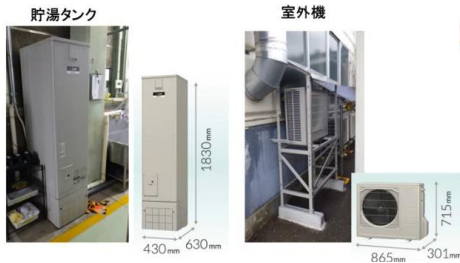
9. 環境経営計画への取組み

年度計画	2035年度	2025年度			2026年度	2027年度
項目	最終目標	計画	実績	評価	計画	計画
LPG	使用ゼロ	172kg	82kg	○	達成	達成
灯油	使用ゼロ	1,880kg	1,780kg	○	代替え案検討 設備投資織込み	設備投資実行
社有車	CO2排出量89t以下	123t	118t	○	9台HV化	4台HV化
廃棄物	2019年度以下	234kg	331kg	×	リサイクル率 95.9%	リサイクル率 96.4%
水	2019年度から5%低減	341kg	246kg	○	節水活動	節水活動
化学物質	2019年度以下	368kg	381kg	×	エコシンナー 検討・トライ	エコシンナー 検討・トライ

【25年度 具体的取組み内容】

ガス使用ゼロの取組み (CO2排出ゼロ:達成)

エコキュートを導入(ガス給湯器 撤去)し、再生可能エネルギーを使用することでCO2の排出をゼロにしました。



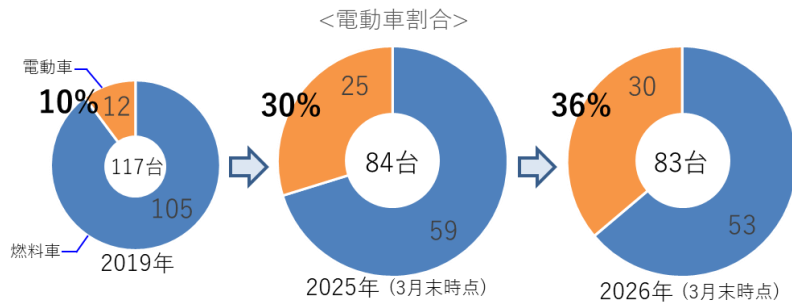
灯油使用ゼロの取組み

灯油ストーブからセラミックヒーターへの試験運用を始めました。来年度の冬に向け、比較検討中です。



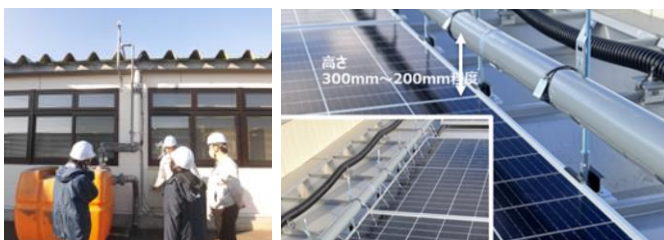
社有車CO2排出低減の取組み

社有車の保有台数見直し・HV車への切替を進めています。



再エネ活用・水使用低減の取組み

太陽光パネルの発電を妨げる雪を解かすために融雪設備(融雪水利用)を自前で設置しましたが、新たな課題が発生。来年度に向けて改善策を検討しています。



化学物質使用低減の取組み

塗装ポンプを洗浄する際に使用する化学物質を減らすため、エコシンナーへの切り替えを試みましたが、洗浄力、洗浄時間等に課題が見つかり代替とはならず。商品情報を確認しながら導入に向け、検討を続けていきます。



10. 各地区 環境負荷低減の取組み

1) 東富士・横須賀地区

部署	カテゴリー	取組み内容	目標値	実績	評価
オール 東富士 横須賀	CO ₂ ・廃棄物 水使用低減	「私の環境行動」 節電・節燃料・節水・3Rに 関する行動を実行する活動(19項目)	3年計画での目標 25年度×2個以下/1人 ×の数:1,850個以下	111個	○
環境 施設管理 G	水使用低減	清掃作業後の洗濯回数見直しと 汚れに応じたすすぎ回数による 水使用低減	水使用量 17.4k ℓ /年以下	16.8k ℓ	○
警備 G	環境汚染 未然防止活動	警備区域から敷地外への 油流出を警備の視点で予防	発見時対応 100% (油流出:無し)	100%	○
横須賀管理 G	廃棄物低減	可燃・不燃ごみ分別、私用ごみの 持帰りによる廃棄物低減	廃棄物量 14.2kg/年以下	9.3kg	○
LC業務G	廃棄物低減	廃棄物処理の分別徹底	分別徹底・違反対応 100%	100%	○
安全 環境室	異常・苦情 未然防止活動	環境パトロールで 異常・苦情の未然防止活動	気付き対応率 100%	100%	○
	環境知識・意識 向上活動	環境トレンドをキャッチし 輪番制で室員に展開する	実施率 100%	100%	○
経理G	CO ₂ 排出低減	残業時間低減に伴う CO ₂ 排出低減	40.07kg-CO ₂ /年以上低減	46.51kg-CO ₂	○
人事・総務G	CO ₂ 排出低減	残業時間低減に伴う CO ₂ 排出低減	1.17kg-CO ₂ /年以上低減	7.97kg-CO ₂	○
営業 サービス室	環境汚染 未然防止活動	売店 冷媒機器点検による フロン漏洩の未然防止活動	毎月の確認・異常時対応 100%	100%	○
保険 サービス室	紙使用低減	保険更改手続きのWeb化による 紙使用低減	Web手続き率 50%以上	59%	○
T H 施工室	廃棄物低減	協力会社・山梨と連携した 廃棄物低減、材料歩留まり向上活動	分別指摘対応 100% 歩留まり向上 2件/年	100%	○

2) 岩手地区

部署	カテゴリー	取組み内容	目標値	実績	評価
管理G	CO ₂ 排出低減	年休取得(会社目標:17日)による 通勤車両のCO ₂ 排出低減	176.8kg-CO ₂ 以上/年	179.3kg-CO ₂	○
エンジニア リング課	CO ₂ 排出低減 業務効率化	見積時のVE/CO ₂ 排出低減 作業の効率化・原価低減提案	4,173kg-CO ₂ 以上/年	4,731kg-CO ₂	○
環境管理課	環境意識向上 活動	ごみの持ち帰り・3S・電気機器の 節電による環境意識向上活動	確認実施率:96%以上	98%	○
施設管理課	CO ₂ 排出低減	社有車の運転、使用、給油方法への 意識向上でCO ₂ 排出低減	486.3kg-CO ₂ 以上/年	492kg-CO ₂	○
営業 サービス室	環境意識向上 活動	3S・電気機器の節電による 環境意識向上活動	確認実施率:90%以上	96%	○
保険 サービス室	紙使用 CO ₂ 排出低減	保険更改手続きのWeb化による 紙使用低減	Web手続き率 60%以上 42.2kg-CO ₂ 以上/年	70.1% 48.4kg-CO ₂	○

3) 宮城地区

部署	カテゴリー	取組み内容	目標値	実績	評価
オール宮城	SDGsへの理解 環境意識向上活動	「私のSDGs」 一人一人が本来業務に関わる 環境行動目標を立て、付随する SDGsアイコンを選択。 毎月評価・年度末に点数付け実施。 年々SDGsアイコン数を増やし 理解と環境意識向上を図る。	3年計画での目標 25年度 行動目標:63件以上 アイコン:63個以上	行動目標:116件 アイコン:148個	○

1 1. コンプライアンス

適用法令と遵守状況

1) 違反・苦情の発生状況

コンプライアンス違反および苦情の発生はありませんでした。
また、関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。

2) 適用法令及びその遵守状況の結果等

法令等の名称	対象設備・役務等	確認月	確認結果
家電リサイクル法	エアコン・ＴＶ・冷蔵冷凍庫・洗濯機衣類乾燥機	実績なし	
建設リサイクル法	建設工事・解体工事	'26.3月	適合
自動車リサイクル法	社有車	実績なし	
廃棄物処理法			
収集運搬処理業	許可証 契約書類締結 収集運搬車両に係る表示 携帯義務確認	'26.3月	適合
排出事業者	保管状況 マニフェスト保管 契約書類締結 年間排出量の報告	'26.3月	適合
フロン排出抑制法	岩手事業所 空調設備	'26.3月	適合
騒音・振動規制法	岩手事業所 コンプレッサー・シャーリング	'26.3月	適合
消防法	岩手事業所 危険物保管庫	'26.3月	適合
浄化槽法	岩手事業所 浄化槽	'26.3月	適合
条令	産業廃棄物に関する条例 委託先調査の実施	'26.3月	適合

確認方法：遵守項目は内部環境監査チェックリストにより確認しています。

12. コンプライアンス活動

1) 内部環境監査

'26.3月に東富士、岩手、宮城地区 相互監査を実施。

—	東富士地区	岩手地区	宮城地区
指摘事項	0件	0件	0件
気付き事項	6件	2件	4件

気付き事項の主な内容

- ①売店 冷媒機簡易点検状況:4件
- ②エコステーション内
表示と運用の整合:2件
保管物の管理状況:4件
- ③活動実績評価の遅れ
- ④社有車 油漏れ緊急事態訓練
手順記載の備品と車両積載品との整合

2) 環境パトロール

見過ごしているリスクの発見、法令・社内ルールの遵守状況確認等

現地現物で異常・苦情の未然防止活動を計画的に実施。

エコステーション、各備品等の保管・美化状況及び、掲示内容・表示との整合・SDS管理状況等を現地現物で確認



3) 環境月間

環境月間を活用し、ストップ温暖化に向けた私たちにできる事を皆で考え

寄せ書きに宣言してもらう事での意識向上、実践してもらう事での環境負荷低減を目指す。



13. 社内コミュニケーション

2) 環境改善会議

年度方針の伝達、各部署活動報告、計画進捗状況のレビュー・指示、法令改正の解説・伝達
良い提案の展開等、四半期に一度開催する会議。

6月

1. 前回会議の課題・意見への対応
2. 環境活動推進計画展開状況
 - 1) EA21中間審査結果
 - 2) 環境月間取り組み
 - 3) 環境パトロール気付き・対応
 - 4) 環境データ
3. まとめ

9月

1. 前回会議の課題・意見への対応
2. 環境活動推進計画展開状況
 - 1) EA21中間審査対応状況
 - 2) TMEJ環境パトロール対応状況
 - 3) 環境パトロール気付き・対応
 - 4) 社会貢献
知識と意識を深める活動
 - 5) 環境データ
3. まとめ

12月

1. 前回会議の課題・意見への対応
2. 環境活動方針展開状況
 - 1) EA21中間審査 対応状況
 - 2) 環境パトロール気付き・対応
 - 3) 社会貢献・知識と
意識を深める活動
 - 4) 環境データ
3. まとめ

'26年 3月

1. 前回会議の課題・意見への対応
2. 環境活動推進計画展開状況
 - 1) EA21中間審査
アドバイス対応状況
 - 2) 環境パトロール気付き・対応
 - 3) 内部環境監査 気付き・対応
 - 4) 25年 CN取組結果
3. 26年度 環境活動方針・推進計画
4. まとめ

CN推進の為、会議内で議論を重ねて活動を進めています

2-5). 環境データ (CN目標値見直し)



CNに向けたCN目標値見直し

※添付資料は山梨事業所 含



電力の見える化(内訳)

1 4. 教育・訓練

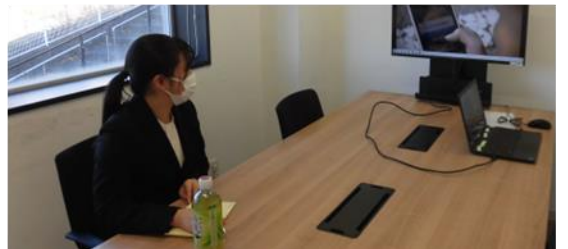
1) 新入社員・受入教育

新入社員・中途採用者に、CN・環境負荷低減の当社の取組みを説明。

「地球温暖化」「海洋プラスチック問題」等、環境問題の現状を知ってもらい
会社・プライベートで自分に何ができるか、皆で協力して進めていく事を理解してもらいました。



自分にできる環境負荷低減活動を宣言してもらい
これからの考動に繋げていく。



2) 緊急事態訓練

スピルキッド・社有車に備置している吸着シートの保管場所を皆で再確認。

社有車からの油漏れを想定した訓練を、作業標準書を基に備品の使用方法、緊急時にとるべく
落ち着いた行動を確認・実施しました。参加できなかったメンバーに対して、各部署教育を行い、
全員で緊急時対応方法を共有し手順の有効性・改訂の必要がない事を確認しました。



作業標準書									
作業名	作業内容	作業手順	作業時間	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
1	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
2	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
3	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
4	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
5	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
6	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
7	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
8	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
9	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所
10	作業開始	作業開始	10分	作業場所	作業担当者	作業確認者	作業完了日	作業完了時刻	作業完了場所

15. 活動事例

1) カーボンニュートラルへの取組み

《非稼働中待機電力低減》

連休中の待機電力低減活動

～夏季連休も変わらぬ協力をお願いいたします～

2025年8月5日
富士裾野地区環境事務局

1. 連休待機電力低減 協力のお願い



1. オフィス・事務所の電源OFF 2. 設備の電源OFF 3. 連休前の省エネ自主点検



4. 設備の三遊間防止

5. 最後の消し忘れ防止

6. 気付いたら即電源OFF



これまで同様に8月連休の待機電力低減活動の実践をお願い致します。

春・夏・冬期連休中に加え
非稼働中の電力を削減する取組みを実施

《空調使用箇所集約による節電》



・変更後：小会議でパーテーションを区切り業務

→温める空間を限定することで、エアコン負荷を減らす



業務しやすいように
ディスプレイ購入

夜勤の作業場所を小会議室へ移し、
空調電力の集約を実施

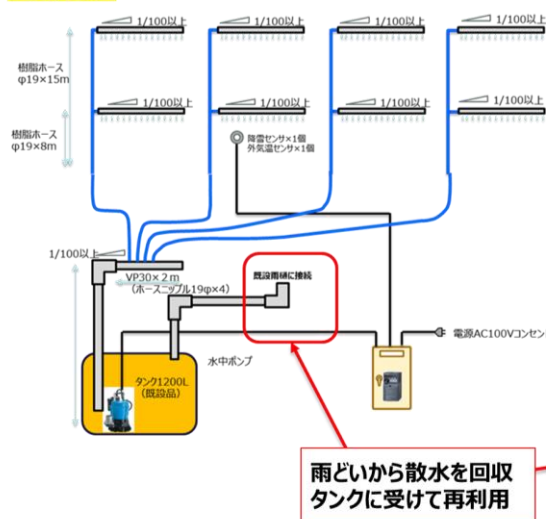
《遮光による夏の節電》



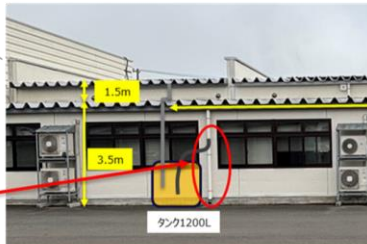
ゴーヤカーテン・ブラインド・ハニカムスクリーン設置で
窓からの熱を和らげエアコン稼働を抑える取組みを実施

《太陽光パネル融雪設備設置》

システム図



※融雪で使用了散水を回収するため
上記エリアに絞って実施



パネル上の雪を融かし、発電量を増やす取組みを実施

15. 活動事例

2) 本来業務での環境負荷低減活動

《保険:契約書類のWeb化》



廃止

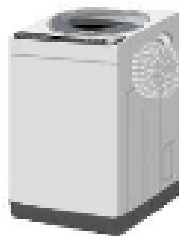


web手続

紙使用低減

《洗濯のすすぎ回数見直し》

清掃で使用した備品を
1回/日洗濯



汚れに応じて
洗濯のすすぎを1回へ

水紙使用低減

《工事におけるVE提案》

提案用紙		株式会社E J サービス	
項目	内容	提出日	提出者
工事箇所	17号機洗浄設備工事のVE提案	2025年1月18日	GL
提案内容	現状 ・TMEより第1清掃棟にある洗剤洗浄槽内のブロー室で、洗剤を提出したが事前に合わせた為、仕様を清掃時に調整と調整期間を要した。 ・洗剤がコーティング剤等がこびりつき見た目が悪く、清掃のたびに歩行に支障がある。 ・ブロー室内調整・調整 ・調整内容が調整 改善案 ・洗剤を提出したが事前に合わせた為、仕様を清掃時に調整と調整期間を要した。 ・洗剤の提出をエアーブロー室中央に設置したことによって清掃時間が短くなった。 ・洗剤の位置と長さを変更したことにより金額が調整になり事前に算定していた。		
効果	工期短縮等で 利害関係者に貢献		

工期短縮等で
利害関係者に貢献

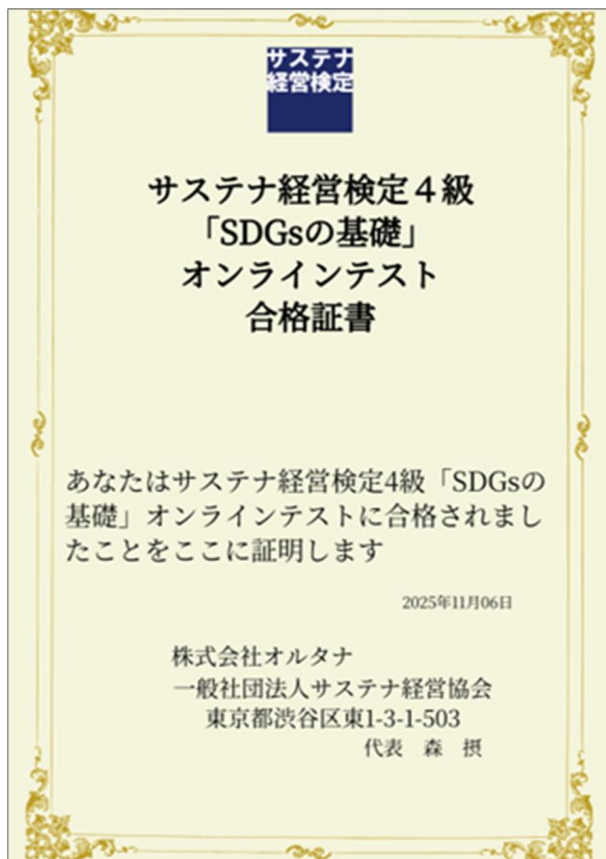
3) 知識と意識を深める活動

《eco検定》 ※25年度 4名合格



環境問題・SDGs等幅広い知識を学ぶ資格試験
合格者は「エコピープル」として認定
環境意識の高い人材として社内外にアピール可能

《サステナ経営検定 4級》 ※25年度 1名合格



SDGsの基礎を学ぶオンライン資格試験
SDGsの背景や17ゴールを理解し、持続可能な
社会づくりに必要な知識が身に付く

16. 社会貢献活動

親会社・地域コミュニティとの連携・支援



南三陸町きりこ (切り絵)



七北田川クリーン運動 & アユ放流会



伊豆沼環境保全活動



みつばちの里づくり 畑作業ボランティア



島田飴まつり運営ボランティア



ルート4 交通安全啓蒙活動



除雪ボランティア



金ヶ崎町主催クリーン作戦



岩)事業所周辺 安全運転啓蒙活動

《フードドライブ》



家庭で余っている食料を寄贈し、支援活動に役立てました。

《使用済み品リユース・リサイクル活動》



ペットボトルキャップ寄贈（世界の子供にワクチンを日本委員会・社会福祉協議会）



コンタクトレンズ空ケース回収
アイケアカンパニーへ寄贈



使用済 切手収集
宮城地区⇒JOCSへ寄贈



古着を回収
金ヶ崎町へ寄贈

17. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針の見直しの必要性 あり ・ なし
2. 実施体制の見直しの必要性 あり ・ なし
3. 環境経営目標、環境経営計画、活動内容、社会貢献活動等に対して
今後の活動への指示・要望・示唆など

本年度の環境目標の達成状況については、概ね計画どおり進捗したものの、一部に未達成の項目が見られた。特に化学物質使用量は、受注量に左右されるため自社での調整が難しい状況にあるが、エコシンナーへの代替検討を含め、引き続き削減に向けた取組みを推進していきましょう。

カーボンニュートラル（CO₂削減）については、国際認証制度推進に向けた取組み、2035年度までに2019年度比68%削減という目標に向けて順調に推移しています。2024年度は再生可能エネルギー電力、2025年度はエコキュートを導入し、CO₂排出量の削減を実現しました。その他の環境改善活動についても、課題を一つずつ継続的に改善していきましょう。

社有車からのCO₂排出量は、業務量の変動によりコントロールが難しい面がありまた、HV車への更新を進めていますが、中東情勢等の影響による新車供給の遅れも想定されるので、状況に注視して対応していきましょう。

車両更新時には使用状況を精査し、保有台数の適正化も併せて検討してください。

社会貢献活動について、2025年度も多く活動に参加しました。

親会社からも積極的に参画したことへの感謝の言葉をいただいています。

2026年度は、地域の皆さまにEJサービスをより知っていただく機会として、活動を継続・発展させてください。

今後も全社でコミュニケーションを図りながら、環境目標達成に向けて継続的改善を進め、環境経営のさらなる向上を目指していきましょう。

2026年 5月 26日

環境統括者 牧元 浩一郎